



令和3年8月8日～10日の洪水調節状況



ダム湖での流木捕捉状況

今年の洪水期（6月16日～9月30日）が終わりました

今年では合計8回の洪水警戒体制^{※1}入りとなりました。中でも8月8日から8月10日の台風第9号、8月12日から8月15日の前線による影響では、ダム上流からの水の流入量が洪水量^{※2}(120m³/s)に達したことにより洪水調節^{※3}を実施しました。

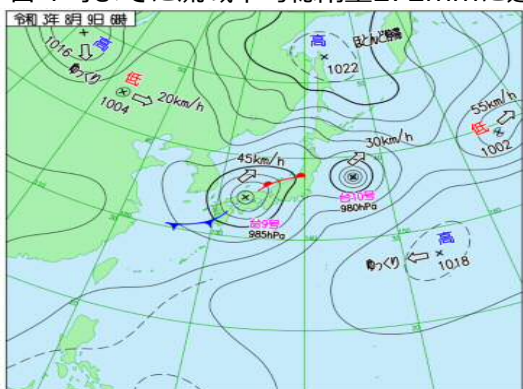
注) ※1 洪水警戒体制・・・気象台より大雨・洪水警報が発したとき、または大雨・洪水注意報+流域平均累計雨量45ミリを満したとき、職員が管理所に待機してダム情報発信を通し、洪水に備えること。

※2 洪水量・・・ダム毎に定めている流水の量のことであり、御部ダムは洪水量を120m³/sと定めている。

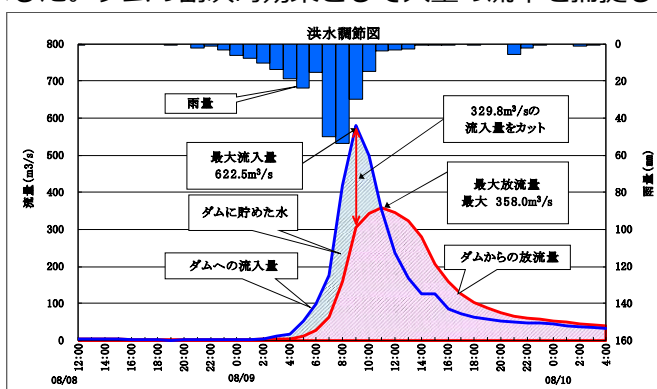
※3 洪水調節・・・ダム下流の洪水被害を防止、軽減するためにダム上流から流入する水を貯め、ダム下流に放流される水を調節すること。御部ダムは上流からの流入量が120m³/sを超えたとき洪水調節を行う。

台風第9号通過時の御部ダム洪水調節効果について

令和3年台風第9号（8月8日から10日）では、8月8日22時30分から洪水警戒体制を開始しました。そして、8月9日6時30分にダムへの流入量が、洪水量（120m³/s）を超えたことから洪水調節を開始しました。その結果、最大約622.5m³/sの流入量に対し329.8m³/sの流量をカットしました。このダムの洪水調節機能により、ダム下流市街地の三隅大橋地点（浜田市三隅町三隅付近）で、河川水位を約0.66m低下させることができたと考えられます。また、台風の影響により、ダム上流域で8月8日11時の降り始めから10日4時までには流域平均総雨量272mmに達しました。ダムの副次的効果として大量の流木を捕捉しました。

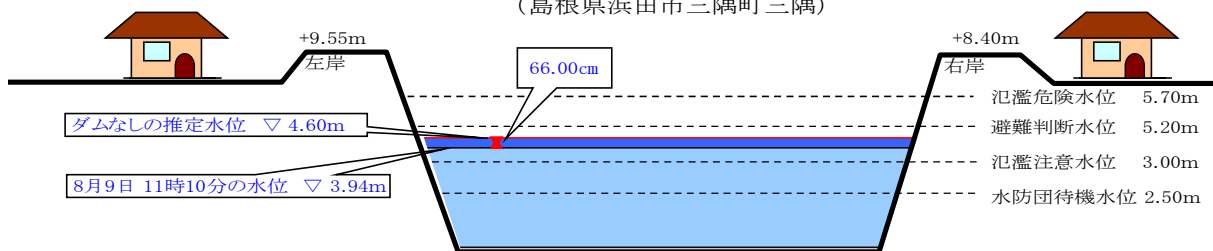


令和3年8月9日の天気図



8月8日～10日の洪水調節図

三隅水位局付近断面図
(島根県浜田市三隅町三隅)



台風第9号通過時(8月8日から10日)の洪水調節実績

黒沢まちづくりセンター主催の「黒沢 Science!」に出張してきました

7月27日（火）に子どもたちが三隅川の自然環境について学ぶイベント「黒沢 Science!」が開催されました。プログラムの中で、お時間をいただき三隅川とかかわりの深い御部ダム の役割について、話をさせていただきました。このイベントを通して、ダムについても理解を深めていただけたのではないかと思います。



(御部ダムの役割について説明している様子)

石見ケーブルビジョンの取材が入りました



(ケーブルテレビ取材の様子)

9月29日（水）に石見ケーブルビジョンの番組「探偵社、ぶらり」の取材が御部ダムに入りました。普段入ることのできないダム施設を巡る番組取材となっており、ダムの役割について身近に感じられる内容になったのではと感じています。番組は、「御部ダムをぶらり」として、10月8日(金)17:00～に放送されました。

御部ダム30周年記念ダムカードについて

昨年、御部ダムでは運用開始から30周年を迎えました。これを記念して、「御部ダム30周年記念ダムカード」を令和2年11月より配布しております。近くにお出かけの際は、ぜひダムの方へ足をお運びください。「御部ダム30周年記念ダムカード」は数に限りがあります。また、今後の新型コロナウイルス感染状況によって、配布を見合わせる場合があります。

【編集後記】

早いもので、本年も残り2カ月を切りました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策と防災対策の両立が求められる一年となりました。昨今では、防災意識の向上と公共土木施設をめぐるインフラツーリズムが注目されつつある中、ダムの出前講座やダム見学の申し込みが増えてきています。ダムについて、興味・関心がある方は以下の連絡先へお気軽にお電話ください。（畠尾）

| | | |
|----------------|------------|--------------|
| 【発行】 浜田県土整備事務所 | ダム管理第二課 | 0855-29-5678 |
| | 御部ダム管理所 | 0855-35-1421 |
| | 御部ダム自動音声案内 | 0855-35-1316 |